



おおつエコフェスタ2022 参加活動のふりかえり

文責：松村順子

1. 活動報告

- ・おおつエコフェスタ2022において、「大津市プラスチックごみ削減勉強会」としてプラごみ削減をめざすための啓発活動をする。

【日時】 2022年7月31日(日) 10時30分～15時

【場所】 ピアザ淡海 3階 大会議室

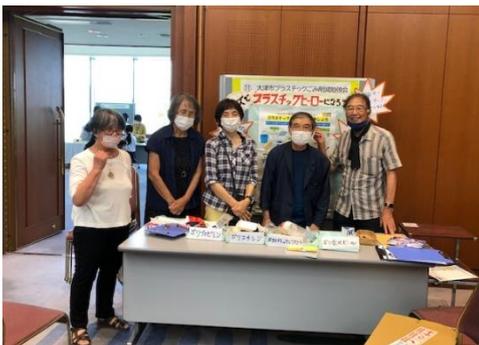
【参加スタッフ】 7名

【活動内容】

ブース出展 「親子でチャレンジ、クイズをとりてプラスチックヒーロになろう」

- ・参加者に身近なプラスチックの種類や特徴などを、パネルや実物のプラごみを使って、簡単に説明をする。
- ・プラスチック・クイズに回答をしてもらう。
参加者には「私のプラごみ宣言」を書いてポストイットしてもらい、参加賞として缶バッジを進呈する
- ・準備・・・クイズシート作成、缶バッジ作成、パネルと吹き出し作成
- ・机1台、椅子8脚、パネル1台
- ・クイズは、1回15分。
- ・15分の内訳 (説明5分程度、クイズ回答5分、回答と宣言記入5分)

2. 結果
実施数：23回
参加者数：123名



【参加者によるプラごみ宣言 ポストイットに書かれた内容別結果】

リサイクルをする	29名
分別をしっかりとる	11名
無駄なプラスチック製品を買わない	7名
リユースを考える	7名
マイボトルをもちあるく	4名
使い捨てをやめる	4名
プラごみはごみ箱にすてる	3名
ポイ捨てをしない	2名
3R	2名
琵琶湖をきれいにしたい	2名
プラスチックをへらす	2名
リデュースをする	1名
考えてからプラを買う	1名
プラマークを確認する	1名
イラスト	1名



参加者のプラごみ宣言でいっぱい！

回答者数： 77名

3. スタッフの感想と反省

- ・パネル展示よかった。
- ・周りの音に負けず声を出し、途中参加の親子にも分かってもらう事が難しかった。
- ・会場のにぎやかな状況では出来ないと思い、シナリオを中心に伝えられる最小限を考えた。
- ・クイズの出し方、説明、メンバーの入れ替えなど、十分にできなかったこともあった。
- ・事前の準備、当日の運営勉強になった。
- ・少人数でも何とか最後までこなすことができた。でも、ローテーションが予定どおりに進まなかった。
- ・しんどかったが充実した時間だった。賞品の缶バッジがなくなるとは思っていなかったので驚いた。
- ・エコフェスタに参加する小学生はそれなりに意識が高いので、決して子ども扱いしてはいけないと感じた。
- ・子供たちは理解しようと努力してくれていたのも、私たちがもっと理解を深めて説明すればよかった。
- ・他と比べてポスターがよく目立ったと思います葉っぱのマークがよかった。
- ・もう少し静かなところで周りの邪魔が無いところで説明をしたかったです。
- ・クイズの対象年齢を考慮すべきだった。
- ・展示物は検討する必要がある。
- ・勉強会として、プラごみ削減への啓発として何か具体的な活動はできないのかが実現した感があった。
- ・エコフェスタ参加にむけて、当会初めての試みとなるプラごみクイズについて内容を話し合い、参加者との交流などスタッフ自身が学べたことが大きな成果だった。
- ・反省点をふくめて、準備から当日までの活動を共有できたことが嬉しかった。
- ・スタッフの熱意が子どもたちに伝わったとの実感をもてたことが、次への原動力になりそうだ。
- ・最後の最後のクイズに参加した子供が、帰り際に「僕はプラスチックヒーローになれた？」との笑顔の一言。不慣れで大変だった一日の全てがバラ色になった。